

この度はケニス鉄製スタンドをお買上げ頂き有難うございます。
ご使用前にこの説明書を必ず読んで注意事項を守って頂きますようお願い致します。
お読みになった後もいつもお手元に置いてご使用下さい。



注意

この指示に従わず誤った取扱いをすると、人的傷害や物的損害が発生する可能性があります大変危険です。
ご使用前には必ず注意事項をお読みいただき、守っていただきますようお願いいたします。

- 本器を理化学器具の支持・固定以外の目的で使用しないで下さい。事故や破損の原因となります。

■設置について

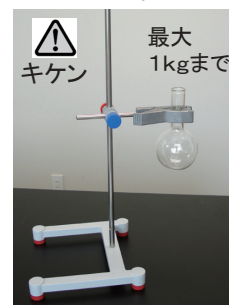
- ・スタンドは安定した水平な場所に設置して下さい。不安定な場所での使用は、転倒・落下によるケガや破損の原因となります。
- ・ゴム脚が磨り減ったり、変形したものは使用しないで下さい。
- ・台が鋭利な物で傷つかないように注意して下さい。故障の原因となります。
- ・器具にもたれかからないで下さい。ケガや破損の原因となります。
- ・スタンドを移動させる際は支持・固定している全ての器具を取り外した後、支柱と台をしっかりと持って移動させて下さい。

■付属品の取り付けについて

- ・支柱は台にしっかりと固定して、動くことのないよう締め付けて下さい。
- ・クランプの赤ネジと青ネジは長さが違いますので、逆にして使用しないで下さい。赤ネジは青ネジよりも短いため、吊り棒を固定することができません。
- ・支柱にクランプを取り付ける際は、クランプの赤ネジをしっかりと締めて、確実に固定して下さい。
- ・自在挟み・支持環・吊り棒等の部品はクランプの青ネジをしっかりと締めて、確実に固定して下さい。
- ・器具の高さや位置調節をする際、クランプのネジはゆっくりとゆるめ、クランプを手で支えながら行って下さい。ネジを一気にゆるめると器具が落下し、ケガや破損の原因となります。
- ・自在挟みには決められた使用径（クリップ式 40 mm、ネジ式 45 mmまで）以外の器具などを挟まないで下さい。器具が落下し、ケガや破損の原因となります。
- ・自在挟みや支持環にはスタンドがバランスを失うような重いものを固定しないで下さい。スタンドが転倒し、ケガや破損の原因となります。
- ・右図のように自在挟みや支持環等を台の反対側に取り付けた場合、重さが1kgを超えるものを使用しないで下さい。スタンドが転倒し、ケガや破損の原因となります。

■加熱について

- ・加熱器具の設置は必ず火の消えた状態で行って下さい。
- ・加熱作業中・直後は自在挟み・支持環・支柱等が熱くなっていますので触れないで下さい。
- ・自在挟みを直接加熱しないで下さい。ネジ等の部品が溶けたり、焼けたりして使用できなくなる恐れがあります。

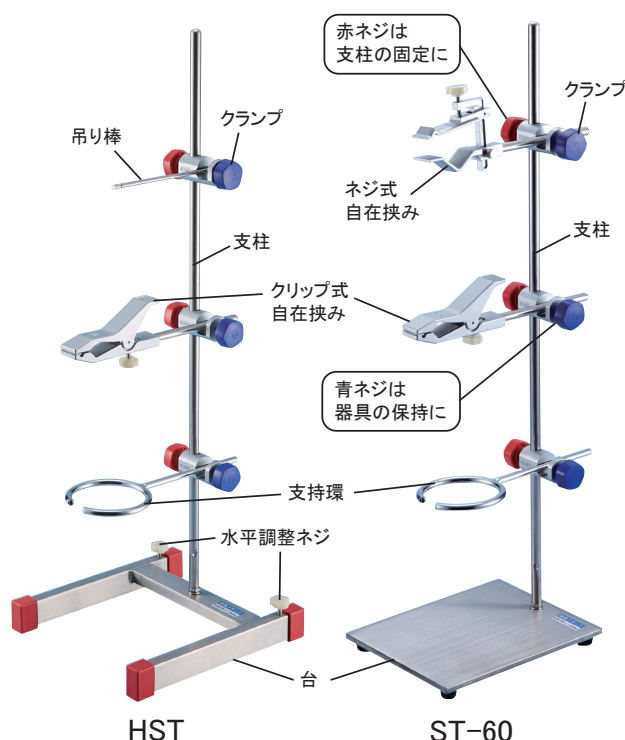


【商品概要】

- 各種理化学器具を支持・固定するためのスタンドです。

【仕様】

コード		134-0970	134-0972	135-0018	135-0024	135-0025
型 式		HST	HST-DR	ST-60	ST-DR	ST-D
台	材 質	ステンレス SUS304 製 水平調節ネジ付		ステンレス SUS304 製		
	大きさ	235 × 250 × 36 mm		225 × 175 × 18 mm		
	重 さ	約 2.8kg		約 2.5kg		
支 柱	材 質	ステンレス SUS304 製				
	大きさ	12 φ × 660 mm				
付 属	クランプ	3 個	2 個	3 個	2 個	1 個
		ダイカスト製 締付範囲 12 mm以下 カラーステンレスネジ付（赤ネジ・青ネジ）				
	クリップ式 自在挟み	ダイカスト製 ステンレス柄 はさみ間隔 0 ～ 40 mm（両開き式）				
	ネジ式 自在挟み	—		ダイカスト製 ステンレス柄 はさみ間隔 0 ～ 45mm	—	
	支持環	ステンレス SUS304 製 内径 80 mm φ				—
	吊り棒	ステンレス SUS304 製 5 φ × 150 mm				

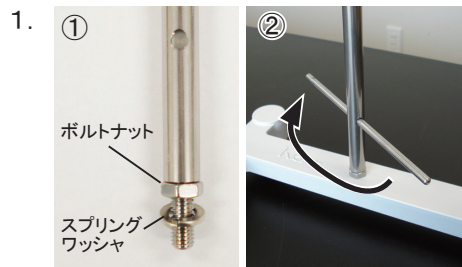


【使用方法】

I. 組立て方法

1. 台に支柱を取り付けます。

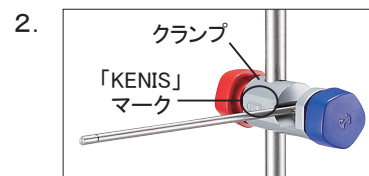
- ①支柱のネジ部へ、先に「ボルトナット」を取り付けます。その下に「スプリングワッシャ」を通し、支柱を台の中央の穴にねじ込みます。
※出荷時は支柱に「スプリングワッシャ」→「ボルトナット」の順で取り付けられていますので、一度部品を取り外してから取り付けて下さい。
- ②支柱下部の穴へ付属の吊り棒を通し、吊り棒を右回りに回して更に固く締め付けます。(矢印の向き参照)
- ③ボルトレンチ等でボルトナットを締めて固定します。(矢印の向き参照)
※ボルトナットを矢印の方向に締めることでより強く固定することができます。



2. クランプを取り付けます。

支柱に自在挟みや支持環を固定するための道具です。

- ①クランプの赤ネジを緩め、凹部の溝が上を向くようにして、クランプを支柱の上から通します。クランプに刻印された「KENIS」マークが上を向いていれば正しく取り付けられています。
 - ②任意の位置で赤ネジをしっかりと締めてクランプを固定します。
 - ③青ネジを緩め、自在挟みや支持環を挟みます。
 - ④任意の位置で青ネジをしっかりと締めて器具を固定します。
- ※色が異なるネジを採用しているため指導に便利です。
(赤ネジは高さ調節、青ネジは長さ調節)



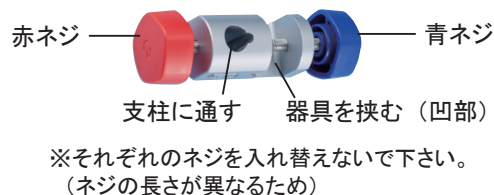
II. 部品の使用方法

■クリップ式自在挟み

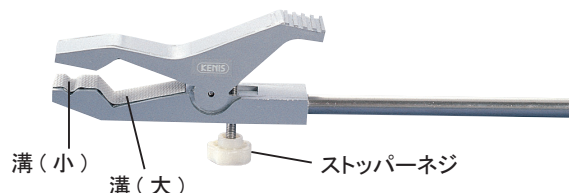
ガラス管や試験管、フラスコ等を固定する道具です。
クリップ式なので簡単に器具の固定ができます。

- ①クリップ式自在挟みをクランプに青ネジで締め付けて固定します。
- ②自在挟みのストッパーネジをゆるめ、ガラス器具等を挟みます。
※棒状温度計等細い形状の器具は挟みの先端の小さな溝に、試験管やフラスコ等は大きな溝に挟んで下さい。
- ③ストッパーネジを締めれば、器具を更にしっかりと固定できます。
※このときネジを締め過ぎるとガラス器具が割れるのでご注意ください。

⚠ クランプのネジは入れ替えない



クリップ式自在挟み

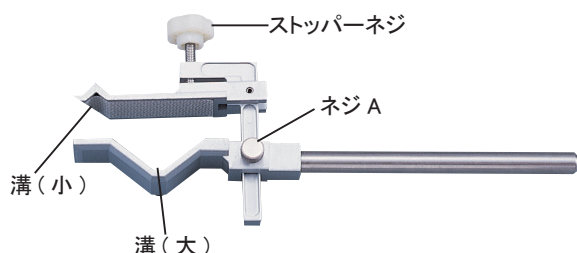


■ネジ式自在挟み (ST-60 のみ)

ガラス管や試験管、フラスコ等を固定する道具です。

- ①ネジ式自在挟みをクランプに青ネジで締め付けて固定します。
- ②ガラス器具等を挟み、挟んだ部分を手で押さえながらネジ A を締めて下さい。
※棒状温度計等細い形状の器具は挟みの先端の小さな溝に、試験管やフラスコ等は大きな溝に挟んで下さい。
- ③ストッパーネジを締めれば、器具を更にしっかりと固定できます。
※このときネジを締め過ぎるとガラス器具が割れるのでご注意ください。

ネジ式自在挟み



■支持環

直径 80 mm 以上の分液ロートや金網の保持に使用します。

- ①支持環をクランプに青ネジで締め付けて固定します。このとき環が水平になるように固定して下さい。
- ②加熱時はアルコールランプやガスバーナー等の炎の高さに合わせてクランプの位置 (支持環の高さ) を調整して下さい。

■吊り棒

温度計や振子などを吊るすのに大変便利です。 ※吊り棒は台と支柱を取り付ける際の締め付け棒としても使用します。

- ①吊り棒の溝が無い方をクランプに青ネジで締め付けて固定します。
- ②吊り棒の溝に係などを引っ掛けて使用します。

【保管とお手入れ】

- ・使用後は各部品 (台・支柱・クランプ・自在挟み・支持環・吊り棒) を乾いた布などで拭いてから保管して下さい。
- ・薬品をこぼした場合は、すぐに布などで拭きとって下さい。薬品が付着したままにすると表面が侵され、錆の原因となります。
- ・自在挟み・支持環等をクランプに取り付けたまま保管する場合は、青ネジでクランプにしっかりと固定した後、支柱の一番下まで降ろして保管して下さい。この時、クランプは赤ネジで支柱に締め付けておいて下さい。